

今後の取組について ②江戸街道プロジェクトについて

令和7年3月12日（水）
観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議事務局



Edo Shogun Roads

地域観光新発見事業の概要

事業内容

- 地域の観光資源を活用した地方誘客に資する観光コンテンツについて、十分なマーケティングデータを活かした磨き上げから適時適切な誘客につながる販路開拓及び情報発信の一貫した支援を実施。

<支援内容>

- ・ 専門家の意見を踏まえた観光コンテンツの磨き上げ・商品化
- ・ 新たな観光コンテンツのオンライン等を活用した国内外への販路開拓及び情報発信

観光コンテンツの磨き上げ・商品化



- ・ 観光には活用されていない地域産業等を活かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・ 既存のコンテンツ等も含めたパッケージ化・ツアー化等

販路開拓・情報発信



- ・ 国内実施主体と海外旅行会社とのマッチング・商談会の開催
- ・ 効果的な販路開拓・情報発信に向けたセミナーの開催
- ・ オンラインを活用した情報発信等

事業スキーム

- ・ 事業形態：間接補助事業 400万円まで定額、400万円を超える部分については補助率1/2（補助上限：1,250万円、最低事業費：600万円）
- ・ 補助対象：国→株式会社博報堂（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者等

スケジュール

- ・ 第一次公募：令和6年3月8日（金）～4月17日（水）／採択通知：5月30日（木）
- ・ 第二次公募：令和6年5月31日（金）～6月24日（月）／採択通知：7月26日（金）

江戸料理に手しごと伝統工芸など江戸尽くし！江戸・日本橋に最も近い宿場町「千住宿」で江戸を味わうガイド付き街道回遊コンテンツ造成事業（千住宿街道観光活用実行委員会）

2025年2月1日、2日出発限定！

千住宿 まち歩き ウォーキングライブツアー

開催日 2月1日(土) 2月2日(日)

参加費 6,000円(税込)

申込 11月18日(金) 11月20日(日)

申込先 千住宿まち歩き実行委員会



【実施内容】

- 安田大サーカスの団長と行く！「千住宿」の文化と伝統工芸を楽しむ！江戸街道日帰り街歩きツアー
芸人ガイドの解説とともに街道ゆかりの場所や千住の穴場スポットをめぐる一般参加型のモニターツアー。千住の採択事業者同士で連携。
(実施日11月30日：参加者 15名
12月 7日：参加者 12名)
- 松竹芸人がおもてなし 千住宿まち歩きウォーキングライブツアー
別の芸人ガイドによる3時間に短縮したツアー
(実施日2月1日：事業者自主催行)
(参加者 5名)

東海道53次3番目の宿場町「神奈川宿」に眠るお宝発見！横浜ディスカバリープロジェクト！（神奈川宿観光利用促進委員会）



【実施内容】

- 神奈川宿に眠るお宝発見ガイド付きツアー
開港期の神奈川宿をテーマに歴史的遺産や文化（神奈川神楽）をガイド付きでめぐるモニターツアー
(実施日10月29日：参加者 約15名)
- 横浜芸者と下田芸者によるコラボレーションディナーショー＆神奈川宿歴史講座
宿場町の歴史的遺産や文化（横浜芸者等）を再発見するモニターイベント
(実施日12月27日：参加者 約15名)

日光街道・日光西街道ご宿場印プロジェクト～各ご宿場での着地型コンテンツ造成とデジタル版日光街道・日光西街道ご宿場印スタンプラリー開発～（東武鉄道株式会社）

日光街道・日光西街道ご宿場印プロジェクト

開催期間 11月1日～1月13日

参加費 500円(税込)

申込 11月18日(金) 11月20日(日)

申込先 東武鉄道株式会社



テレビ「埼玉ビジネスウォッチ」
2024/12/15放送より

【実施内容】

- デジタル版 日光街道・日光西街道 御宿場印スタンプラリー
江戸街道プロジェクトおよび御宿場印プロジェクトと連携。千住宿から日光宿に至るまでの9つの宿場をはじめ、周辺の駅や神社などを巡り、地域に根差した文化や歴史に触れたり、地域の名産品を楽しむスタンプラリー
(開催期間 11月1日～1月13日)
(参加者 580名)
- メディア露出
テレビ埼玉「埼玉ビジネスウォッチ」特集にて紹介。スタンプラリーの様子や江戸街道プロジェクトとの連携について放送。
YouTubeテレ玉NEWS内で、アーカイブ配信中
https://www.youtube.com/@teletama_news
(12月14日(土)、12月15日(日) 放送)

特別体験事業を活用した江戸街道プロジェクト関連案件の支援

特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業の概要

事業内容

- 我が国が誇る観光資源（自然、文化、食、スポーツ等）を、早朝夜間や未公開・非混雑エリア等の十全な活用と組み合わせ、これまでにないインバウンド需要を創出、期間限定の特別な体験として提供。
- 特に、地方における体験コンテンツ等の消費を一層拡大・質の向上を図るため、地方の自然・伝統文化活用、食の地産地消、地域人材の活用等を奨励し、極めて付加価値が高く、地域の目玉となる様々な資源を集約した「地方プレミアム体験コンテンツ」の創出を促進。
- 海外情報発信の観点から、海外旅行博等における訪日イベントを実施。

事業スキーム

- 国・地方型（直轄事業）：上限8,000万円（最低事業費：3,000万円）
- 民間企業型（補助事業）
 - インバウンド規模3,000名以上：1,500万円定額
1,500～6,000万円まで補助率1/2（最低事業費：2,500万円）
 - 高付加価値：1,000万円定額 1,000～3,000万円まで補助率1/2
（最低事業費：1,500万円）（単価3倍以上）

スケジュール

- 第一次公募：令和6年1月12日（金）～2月8日（木）
採択決定：令和6年3月8日（金）
- 第二次公募：令和6年3月27日（水）～4月26日（金）
採択決定：令和6年5月31日（金）

事業イメージ

期間限定の特別な体験



学芸員解説付き
貸し切り特別ツアー
（三の丸尚蔵館）



夜間特別開館による
音楽会の開催と日本食提供
（東京国立博物館）

地方プレミアム体験コンテンツ



姫路城
夜間占有特別ツアー



知床国立公園
立入禁止区域特別ツアー

海外情報発信



インフルエンサーを対象とした
訪日イベント



アメリカ・ニューヨーク
旅行業関係者を対象とした
訪日イベント

江戸街道プロジェクトによる日本橋での江戸文化体験と五街道を中心とした街道観光への誘い（江戸街道プロジェクト実行委員会）

GENUINE-JAPAN
本物の日本文化にふれる

Oh! Edo Tokyo Festival

イベントスケジュール
10/4(日)～11/3(日) 10:00～18:00

10/4(日) 10:00～18:00
10/5(月) 10:00～18:00
10/6(火) 10:00～18:00
10/7(水) 10:00～18:00
10/8(木) 10:00～18:00
10/9(金) 10:00～18:00
10/10(土) 10:00～18:00
10/11(日) 10:00～18:00
10/12(月) 10:00～18:00
10/13(火) 10:00～18:00
10/14(水) 10:00～18:00
10/15(木) 10:00～18:00
10/16(金) 10:00～18:00
10/17(土) 10:00～18:00
10/18(日) 10:00～18:00
10/19(月) 10:00～18:00
10/20(火) 10:00～18:00
10/21(水) 10:00～18:00
10/22(木) 10:00～18:00
10/23(金) 10:00～18:00
10/24(土) 10:00～18:00
10/25(日) 10:00～18:00
10/26(月) 10:00～18:00
10/27(火) 10:00～18:00
10/28(水) 10:00～18:00
10/29(木) 10:00～18:00
10/30(金) 10:00～18:00
10/31(土) 10:00～18:00



【実施内容】

●OH！江戸東京まつり
旧五街道の起点だった日本橋・銀座エリアで、インバウンドに向けた質の高い本物の日本文化を体験できるイベントを展開。

総合プロデュースは、世界的演出家である宮本亜門氏。各コンテンツでの第一人者から指導を受けられるイベント、ガイド付ツアー、伝統工芸品の展示を行った。

（実施期間10月4日～11月3日）

（ツアー及び全イベント合計参加者 7,718名）

将軍の日光社参を再現！「徳川吉宗公献上料理」と川口宿での江戸体験（本町1丁目まちづくり協議会）



【実施内容】

●外国人有識者参加のモニターツアー
インバウンド向けに日本在住の外国人を招請し、意見交換会を行った。

（実施日10月26日：参加者 13名）

●吉宗公献上料理・瀧山装束体験ツアー
徳川将軍の日光社参の休憩所錫杖寺にて、吉宗公が食べたレシピを基にした昼食体験や、大奥ゆかりの再現装束の着用体験を組み込んだツアー。

（実施期間11月5日～2月5日）

（参加者合計 59名）

ぐんま温泉街道 ～日本一の温泉王国・ぐんまの七大温泉で江戸時代の「湯治文化」の真髄を体験（群馬県）

Seven Great Onsen Resorts in Gunma Hopping Fair

Best Period January 6 (Sat), 2023 - February 4 (Sat), 2023

ぐんま温泉街道プロジェクトは、ぐんま県内の七大温泉地を巡る観光プロジェクトです。江戸時代の湯治文化を体験できるイベントを開催します。

市川團十郎 草津湯畑特別公演
Special Performance by Ichikawa Danjuro at Kusatsu's Onsen Field

温泉街道
Seven great onsen in gunma hopping fair

Experience Japanese Onsen Culture

Edo Shogun Roads ONSEN

【実施内容】

●ぐんま七大温泉湯めぐりフェア
江戸街道プロジェクトのビジョンをベースに、江戸期より栄えた群馬の七大温泉地を「ぐんま温泉街道」として結んだ一大温泉フェアを開催。
湯めぐり手形の販売や湯めぐりバスの運行のほか、各温泉地では地域の特色をいかしたイベントが実施された。

（実施期間 1月6日～2月4日）

（延べ利用者数 1,330名）

目的

江戸街道プロジェクトのプロモーション展開の柱の一つとして、街道観光に関する情報を一元化したポータルサイトの構築が急務。令和5年度に実施した調査を踏まえ、恒常的なサイト運営を確実なものとするため、改良版となる検証サイトを立ち上げ、令和7年度以降の本格運用に向けた内外への周知やサイト運営に関わる関係者との関係性を構築する。

内容

- 改良版検証用サイトの作成
- 検証用サイトの運営・管理
- 効果検証

実施結果

- 改良版検証用サイトの立ち上げ
(令和7年3月運用開始予定)
- 内外への周知
(関東ブロック戦略会議ほか)
- 関係者との関係性構築
(ブロック戦略会議構成員によるリンク掲載、(一社) 関東広域観光機構との調整を開始)

仕様・コンテンツ

- プロジェクト紹介ページ (継続)
- 特集記事 (継続)
- 街道観光MAP (新規)



- モデルルート紹介 (新規)



江戸街道プロジェクト事業実施方針・スケジュール

年度	主な取組内容		
R4 2022	【認知度向上】 ・シンポジウムの開催（R4）182名参加（R5）225名参加 【観光地域づくり・連携支援】 ・専門家マッチング事業 ・実践オンラインセミナー（R4）1,210名参加（R5）530名参加 【ブランディング強化】 ・ロゴマークの決定 ・リーフレットの作成	機運醸成 フェーズ	
R5 2023			
R6 2024	【観光地域づくり・連携支援】 ・観光庁補助事業を活用した案件形成支援 ・江戸街道関連事業者交流会の開催(11/13) ・分散型宿泊支援 （対象地域：①南足柄市、②みなかみ町） ・観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議（3月）	【ブランディング強化】 ・各街道ストーリーの設定 ・ロゴマークの普及 【プロモーション展開】 ・日本橋における特別体験事業（10/4-11/3） ・江戸街道ぶらり旅の開催(11/16-17) ・GREEN×EXPO 2027と連携したテーマ事業 （体験型観光による実証事業） ・プラットフォーム(HP)づくり（年度内）	地域づくり フェーズ
R7 2025	【観光地域づくり・連携支援】 ・観光庁補助事業を活用した案件形成支援・商談会への参加 ・江戸街道関連事業者交流会の開催 ・専門家マッチング事業 ・観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議 【ブランディング強化】 ・各街道ストーリーの設定 ・ロゴマークの普及 【プロモーション展開】 ・BtoCイベントの開催 ・プラットフォーム(HP)運用 ・JNTO広域連携プロモーション事業 テーマ案：江戸街道と連携したプロモーション 等		プロモーション展開 フェーズ
R8 2026	・広域周遊事業（補助率1/2等による支援）、福島県DCとの連携 等		
R9 2027	・GREEN×EXPO 2027との連携 等		
※2028年度以降も長期的にプロジェクトを継続			

6

※2028年度以降も長期的にプロジェクトを継続

地域観光魅力向上事業の概要

事業内容

- 将来に亘って持続的に地方誘客が促進されるよう、まだ観光に未活用な地域資源の活用など、地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりの支援を実施。
- <支援内容>
 - ・観光分野の専門家によるアドバイス等を通じた観光コンテンツの磨き上げや商品化の支援
 - ・観光コンテンツの販路開拓のための商談会の開催やOTA掲載等の支援、SNSによる情報発信等の支援

事業イメージ



事業スキーム

- ・事業形態：間接補助金事業 400万円まで定額、400万円を超える部分については補助率1/2 (補助上限：1,250万円、最低事業費：600万円)
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者等

スケジュール

- ・第一次公募：令和7年3月3日（月）～4月18日（金）／採択通知：5月下旬／交付決定：6月下旬～7月上旬
※令和7年6月（予定）に二次公募を行う場合あり

地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業の概要

事業内容

○高単価な特別体験『プレミアムインバウンドツアー』の造成

- ・より効果的に消費額拡大を図るために、消費意欲が旺盛なインバウンド客をターゲットに、我が国が誇る観光資源を生かした高価格帯商品の造成を集中的に実施。特に貴重な観光資源の特別開放、地域産品や伝統工芸品等のモノ消費と一体となった特別体験、高単価商品の造成による多角化促進等に注力。
- ・また、地域への経済波及効果の最大化を促進するため、地域調達率の高いコンテンツ造成を支援。

○海外情報発信

- ・造成したプレミアムツアーを活用した来日意欲の創出のため、訪日イベント等を実施。

事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業
1,000万円（定額補助）+ 250～3,500万円（補助率1/2）、最低事業費1,500万円
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者等

スケジュール

- ・公募期間：令和7年2月6日（木）～3月14日（金）
- ・採択決定：4月上旬～中旬

事業イメージ

規制改革型



コト×モノ消費型



プレミアム型



事業概要

- JNTOが、地域の魅力を良く知る運輸局及び広域連携DMOと連携し、各地域の魅力ある観光資源などを踏まえ、地域の認知度向上を目的に訪日プロモーションを企画し、実施する。
- プロモーション実施後、JNTOの知見・ノウハウを活用のうえ、効果検証を行い地域にフィードバックを行う。

事業内容

招請事業	広告事業
- JNTOが運輸局からの提案を踏まえ、メディア招請、インフルエンサー招請又は旅行会社招請を実施。 - 招請対象は韓国、中国、香港、台湾、タイ、シンガポール、アメリカ、イギリス、フランス及びオーストラリアの10カ国。 - 招請期間は原則4泊5日とし、各運輸局2行程を上限に実施。	- JNTOがグローバルメディアの広告枠を一括で確保し、運輸局と調整した内容を記事化又は映像化。 - 広告対象エリアは、米州圏、欧州圏、アジア圏(韓国、中国、香港、台湾、タイ、シンガポールから対象国を指定) - 各運輸局1広告。

事業の流れ

- 運輸局は、招請事業や広告事業の計画案を策定するにあたり、地域連携DMO、地域DMO、自治体等の域内関係者に対して、招請や広告の対象となる**魅力ある地域資源等を募集する。**(～2月28日(金)まで)
※計画案の策定に当たっては、観光庁の補助事業により過去(3カ年程度を想定)に造成され、現在に至るまでインバウンド向けの着地型旅行商品等として販売されているものが含まれていることを要件とする。
地域が抱える課題や背景、地域としての方向性(ターゲット市場及びターゲット層)等を含むプロモーションのコンセプトの提案の有無、対象募集にあたってのテーマ設定の有無等、**提案募集にあたって必要な要件等は運輸局にて適時判断する。**
- 運輸局は広域連携DMOと連携し、具体的な事業内容(ターゲットや属性、テーマ、ストーリー等)を検討する。それを基に**計画案を策定し、JNTOへ提出。**(3月14日(金)×切)
- 提出された計画案について、4者会議(全運輸局、全広域連携DMO、JNTO、観光庁)にて、事業の提案内容を決定し、運輸局と連携して事業実施に向けた準備を行う。(3月27日(木))
- JNTOが4者会議の結果を踏まえ、プロモーション事業の公示を行い、JNTOと契約した事業者が地域において事業を実施する。
(公示・契約:4月下旬～)(事業の実施:7月下旬～)

関東運輸局の取組方針

- 関東運輸局では、特に江戸街道に関連する観光資源等を募集。(例:街道周辺の歴史・文化・自然・食・酒・伝統芸能・温泉・宿場町の活用等)
- 応募地域を踏まえてなるべく関東広域に散らばるよう、関東広域観光機構とともに行程と広告案を作成。

街道観光に関する課題解決支援事業（仮称）【旧 専門家マッチング事業】

事業概要

本事業では、観光に関連する地域の課題を総合的に解決していくため、関東運輸局が窓口となり、有識者の助言、指導を通じて支援を実施する。本事業の支援の結果、申請団体の施策、取組方針等に取り入れられることを目指す。

【事業内容】

- ・募集時点では具体的なテーマを設定せず、地域の実情に応じたテーマ、内容を検討し支援を実施する。
- ・本事業実施後の取組や方向性について報告書を提出してもらい、有識者のフィードバックを受ける。

<想定有識者>

- ・江戸街道プロジェクトアドバイザリー委員を中心とする。

<支援形式(一例)>

- ・有識者による観光振興のための意見交換、講演等の実施
- ・他事業活用・補助金等申請のための有識者助言、提言の実施 等

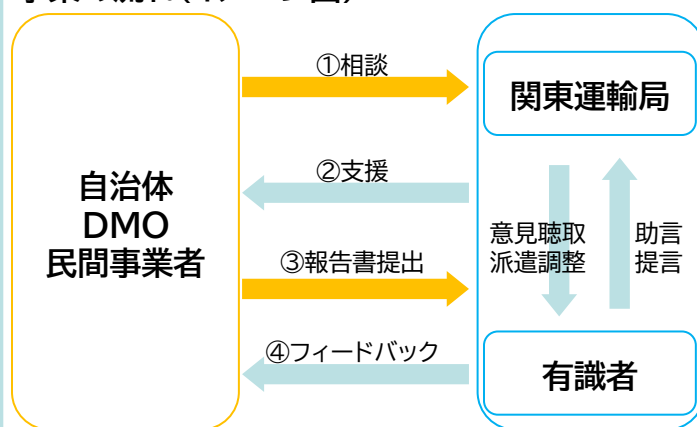
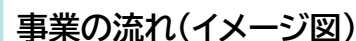
【事業スキーム】

対象団体: 関東運輸局管内の地方公共団体・DMO(登録、候補含む)・民間事業者

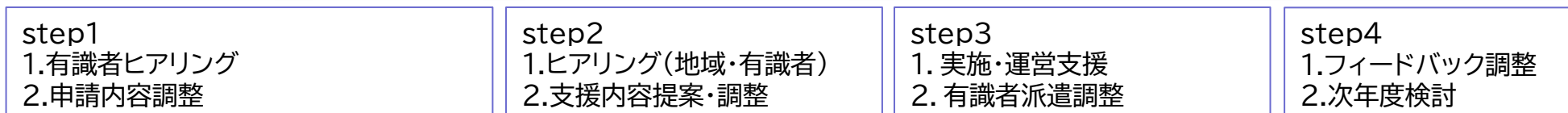
想定回数:2~4団体、各2,3回(4~8回程度)有識者を派遣(原則1回につき1名)

事業期間:単年度事業

事業費：諸謝金及び旅費交通費は事業費負担



事業フロー図



1「江戸街道ぶらり旅」実施概要

【目 的】

現在、関東運輸局で実施している広域関東のブランディングを図ることを目的とした江戸街道プロジェクトをより活性化させ、地域全体の情報発信と更なる協力者を獲得するため、街道観光を一般の方に広く周知し、かつ地域還元が出来るような地域PR物産展を開催した。これらイベントを円滑に実施するため運営等の支援業務を行った。

【概 要】

イベント名:江戸街道ぶらり旅～ご当地名物集めました！～

開催期間:令和6年11月16日(土)・17日(日)

開催場所:江戸桜通り地下歩道(日本橋)

後 援:中央区、一般社団法人中央区観光協会

協 力 先:足立成和信用金庫、埼玉縣信用金庫、鹿沼相互信用金庫、多摩信用金庫、会津信用金庫

実施内容:①江戸街道プロジェクト及び江戸街道を紹介する展示パネルの設置

②江戸街道にゆかりのある地域の特産品等の魅力を発信するための

物販ブースや体験コーナー等の設置

③来場者が楽しめるイベントステージ等の実施

④観光パンフレット等の配布

2「江戸街道ぶらり旅」開催に向けたPRおよび訴求物の制作

【イベント全体デザイン】

・「江戸街道ぶらり旅」のロゴマークを制作、当該デザインを基本として、各種の制作物を作成した。

【訴求活動】

・訴求活動として、チラシを中央区の観光案内所への配架、実施最寄り駅(三越前駅)改札付近でのポスター掲示、プレスリリースの発出とプレスリリース配信会社ならびに国土交通省記者クラブでの訴求を行った。

【会場での街道観光の訴求】

・来訪者に江戸街道プロジェクトおよび五街道のことを知っていただくためのパネルを制作し、会場にて掲示した。



▲「江戸街道ぶらり旅」イベントロゴマーク



▲「江戸街道ぶらり旅」ポスター兼チラシ



▲江戸街道プロジェクト紹介パネル



▲街道毎の紹介パネル

3「江戸街道ぶらり旅」の実施結果

【出展団体(順不同)】

信州・長和町観光協会、(一社)木曽おんたけ観光局、外房観光連盟、(一社)奥むさし飯能観光協会、八二醸造(有)、(株)若素園、千住いえまち、日本橋観光案内所、はちす葉 BONSAI 喜楽園、(一社)下仁田町観光協会、丸園、足立成和信用金庫、千住宿400周年足立姫、(一社)日光市観光協会、(株)若山商店

【来場者数】

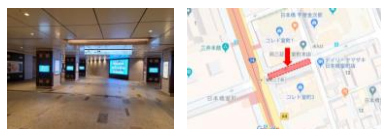
のべ約1,000人(16日:640人、17日:396人) ※時間区切りの人数で推計値

【実施の様子】

・出展団体の最寄りの街道毎にまとまりを作り、街道感を演出。
・PRコーナーのステージにて、出展団体の協力により、居合、三味線、キャラクターグリーティング、サムライの演出等によりイベントの盛り上がりを演出。

【出展団体の意見】

・江戸街道プロジェクトへの関心を出展理由として挙げた団体が多かった。
・他地域との交流の機会となった点が好意的に評価された。
・単発ではなく、恒例のイベントにしてほしいという声をいただいた。
・より集客を募ることが次回の課題、広報の強化と会場の動線分析が必要。



▲「江戸街道ぶらり旅」を開催した江戸桜通り地下歩道



▲オープニングイベントではGREEN×EXPO 2027と連携



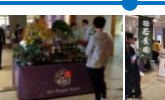
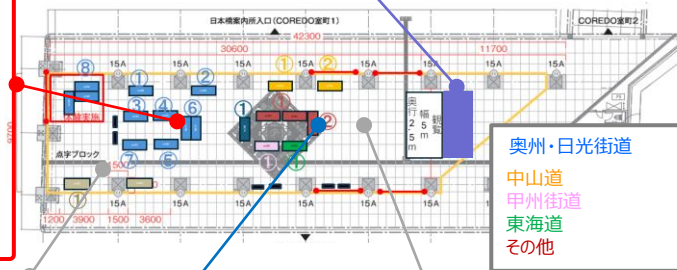
物販コーナー



パネル・パンフレットコーナー



PRコーナー



体験コーナー



休憩コーナー

▲「江戸街道ぶらり旅」会場の配置と実施中の様子

1. 運営体制の構築

- 運営主体の整理、確実な運営体制の構築
 - ・コンテンツ管理、セキュリティ対策、権限管理 など
- ポータルサイトへの情報一元化、サイトの自立化
 - ・アクセス向上のためのPR施策など

2. 参加呼びかけ

- ポータルサイトへの参加を呼びかけ
 - ・掲載コンテンツ充実
(街道ファン向けのイベント、旅行商品等のコンテンツを紹介)
 - ・アイデアの持ち寄り
 - ・参加メリットの提示

初期・中間アウトカムの達成（コンテンツ掲載数：300件）



KGI達成を目指す（PF掲載をきっかけとした連携数：30件）

【目的・趣旨】

江戸街道プロジェクトのプロモーション展開の柱の一つとして、街道観光に関する情報を一元化したポータルサイトを構築する

【イメージ図】

街道観光ポータルサイトでは「モード（移動手段）」、「テーマ（ツーリズム）」、「街道エリア」からモデルルートや観光スポットを探せるようにする

モードから探す



鉄道で巡る

バス(タクシー)で巡る

サイクリングで巡る

ウォーキングで巡る

レンタカーで巡る

テーマから探す



街道エリアから探す

(一例)



品川
川崎
神奈川
保土ヶ谷
戸塚

▼全てを表示する



千住
草加
越ヶ谷
粕壁
杉戸

▼全てを表示する

街道観光を計画するための「観光スポット」、「イベント・事業」、「体験プログラム」情報と自身で計画しなくても、周遊観光できる「モデルルート」情報を一元的に発信する。
関係機関のサイト・SNS等相互のリンクを掲載。

関東広域の街道観光における「窓口」となるサイトを目指します。



【進行中の取り組み】

- 「観光ビジョン関東ブロック戦略会議」構成員に「モデルルート」作成に向けた観光資源の情報提供を協力依頼 (R7.2.18)

機構の担う主な役割

- 訪日外国人の旅行者数、消費額はともに過去最高となり、今後、広域関東ブロックへの観光需要が更に高まる中、当該ブロック全体としてルート観光の構築やプロモーションを実施
- 1つの都県だけではなし得ない、広域関東における各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく戦略の策定

機構の現状

- 人材(職員数)の不足、資金不足により十分な活動ができていない
- 多様な関係者の参画が不十分(地域DMO、金融機関、経済団体等)



目指すべき方向

- 「ロマンチック街道」のようなルート観光のイメージを定着させる施策
- ⇒ 「江戸街道プロジェクト」をフラッグシッププロジェクトとして推進
- ・「GREEN×EXPO 2027」との連携
- 各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく戦略の策定

具体的な取組(例)

- 「江戸街道Edo Shogun Roads」のプラットフォーム(HP)の運営、ファムツアーの実施、旅行博への出展、デジタル広告
- ①庭園・フラワーツーリズム:「GREEN×EXPO 2027」・「日光杉並木400年(2025年)」との連携
*連携先:国際園芸博覧会協会、各自治体等
- ②鉄道・バス・ウォーキング等の街道巡り:「御宿場印プロジェクト」との連携
*連携先:各自治体、地域DMO、交通事業者等
- ③酒蔵ツーリズム:2024年12月 日本の「伝統的酒造り」ユネスコの無形文化遺産 登録決定
*連携先:日本酒蔵ツーリズム推進協議会等
- ④温泉を活用した事業展開:2028年 日本の「温泉文化」のユネスコ・無形文化遺産へ登録を目指して活動中
*連携先:ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構、群馬県等
- ⑤江戸の歴史・文化部会との連携:2026年春(予定)江戸東京博物館リニュー アルオープン
*連携先:東京都等
- (公社)日本観光振興協会が保有している各種データを活用したデータ分析

取組に向けた各目標値

○会員数の拡大／現行(R5d)82団体	短期目標:150団体	最終目標:300団体
○事業費の増加／現行(R5d)4,800万円	短期目標:1億円	最終目標:2～3億円
○職員数の増員／現行(R5d)5名	短期目標:10名	最終目標:15～20名